

コロナ危機からいのちを くらしを守れ!



こうだ・福手・金子 (都立駒込病院前で)

2021年度
文京区予算
1421億円



左から、石沢のりゆき青年学生部長、金子区議、こうだ区議、関川区議、ほその真理衆議院東京2区、福手ゆう子都政対策委員長、小林区議、いたくら区議、まんだち区議 (礒川公園にて)

日本共産党が提案する 2021年度予算修正案

日本共産党は区長提案の予算案に約29億円を増額する修正案を提出し、併せて4つの条例案「学校給食の無償化」「国保子どもの均等割りゼロ」「非課税の75歳からは医療費窓口負担ゼロ」「駐輪場月額2000円⇒500円に値下げ」を提案しました。

予算修正 **29** 億円 (貯込み金 638億円 (2019年度決算) の4.5%) の内容

売上減の中小事業者へ補助	12 億円
75歳以上の非課税者の医療費無料に	7 億 1000 万円
小中学校の給食無償化	6 億円
PCR 検査の拡充 (保育園(区立・私立) 児童館・育成室 小中学校・幼稚園 教育センター)	1 億 9778 万円
子どもの国保料無料に	1 億 2300 万円
小中学校特別教室「快適化」設計 1校⇒4校へ	1500 万円

その他の修正項目

◎プレミアム付買物券も発行	5200万円	◎避難所食料備蓄を2日分に	5000万円
◎商店街の装飾灯電気代全額補助	399万円	◎銭湯100円利用デー倍に	1509万円
◎駐輪場使用料月2千円⇒500円	▲2887万円	◎介護職員の家賃助成増額	1800万円
◎小3・中2も35人学級	4000万円	◎高齢者・障害者家賃助成	3000万円

4つの条例を提案

1. 学校給食の無償化
2. 国保の子ども均等割減免
3. 75歳以上高齢者の医療費助成 (住民税非課税者)
4. 自転車駐輪場使用料引き下げ



※ 1、2、4 は共同提案

都立病院(大塚・駒込病院)の 独法化ストップを!

東京都は8つの都立、6つの公社病院(区内では都立駒込・大塚病院)を「独法化」して半官半民営化する計画です。独法化された病院では、収益追求の病院へと変質させられ、患者負担が増えるなどの事態が起きています。区は、区民との約束を踏みにじる「独法化」に反対してストップをかけるべきではないでしょうか。



小学校「快適化」急げ! 予算7割削るとは!

学校改修(快適化)予算が、前年の6.6億円から1.6億円へと77%も減らされました。古いままの理科室や家庭科室など特別教室101のうち、21年度は根津小の4教室の設計を行うのみ。他方、シビック庁舎の改修には2年連続30億円(総額200億円)も投入します。特別教室の改修こそ急ぐべきです。

PTA 要望書より「専科教室は40年前から改修されていらないと思われる...このままでは数年内に授業に耐え得ない状況に」

保健所体制の拡充を!

文京区の保健所費は23区中22位。区民一人当たり667円と台東区の10分の1です。区は20年前保健所を2カ所から1カ所に減らし、医師、保健師も減らしました。保健所は2カ所にもどし、現在4人となっている感染症対応の保健師の増員や機能の抜本的強化を区政の最重要課題とするよう求めています。

保健所費
23区で
ワースト2!

区政へのご意見・ご要望をお寄せください

日本共産党
文京区議団ニュース
みんなのまち
第111号 2021年 春号
☎5803-1317 FAX 3811-3197



いたくら美千代
区議会議員



まんだち幹夫
区議会議員



こうだ久美子
区議会議員



関川けさ子
区議会議員



金子てるよし
区議会議員



小林れい子
区議会議員

お問い合わせは
こちらへ



ホームページ: <http://www.jcp-bunkyokugidan.gr.jp/> Eメール: mail@jcp-bunkyokugidan.gr.jp

くらしはどう変化した？

コロナ禍において収入が減り、負担が増え、私たちのくらしは一層厳しさを増しました。日本共産党は、区民のいのちやくらしを守り、営業を支える政策の実現に尽力しています。



区民アンケート 結果報告

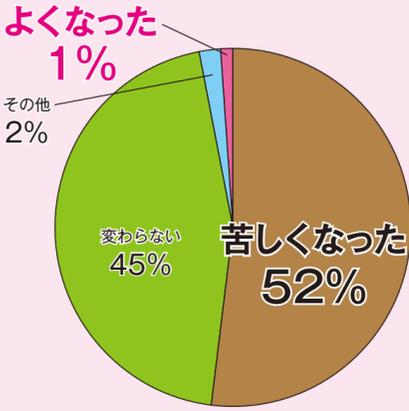
みんなのこえ

900通余を集計！ ご協力ありがとうございました

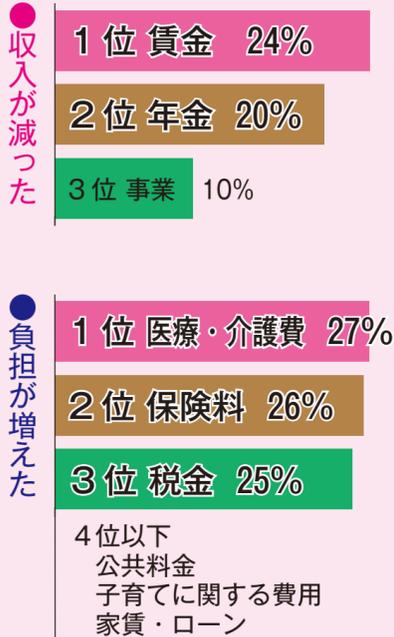
※複数回答については、回答者数における割合を示しています。



Q くらしの状況についてお聞きします



Q 悪くなった理由は何？



どうしたらいい？

コロナ感染症対策について

Q どのような対応をすべき？



保健所を2ヶ所体制に戻し、医師、保健師を増員すること。また、医療従事者を守るため、コロナの影響で経営が悪化している医療機関への減収補填も求めています。

PCR検査について

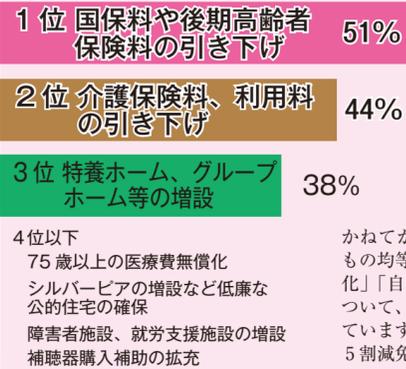
Q どの程度まで拡充すべき？



感染症対策の基本である「早期発見、早期隔離・保護」を徹底するためにも、PCR検査の抜本的拡充を求めています。区では、高齢者、障がい者、子どもの施設におけるPCR検査の拡充をしましたが、子ども・教育の施設における定期検査も行うよう求めています。

医療・介護について

Q 福祉政策で力を入れてほしいこと



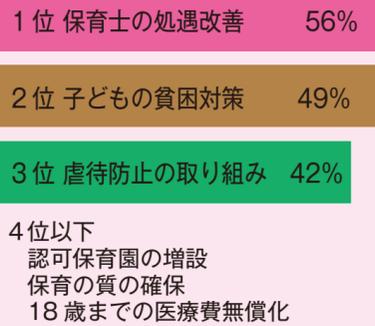
かねてから党区議団は、「国保料の子ども均等割の減免」と「学校給食の無償化」「自転車駐車場使用料引き下げ」について、他党派とも共同して条例提案しています。国保料の未就学児の均等割の5割減免は、国において実現しました。

子育てについて

Q 子育て支援にのぞむこと

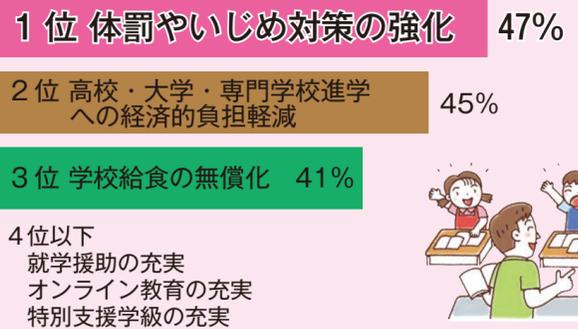


保育士の基本給が10万円台である保育所が情報公開されている60園中31園にのぼります。保育士の処遇改善こそが、保育の質の向上につながります。引き続き、改善を求めています。



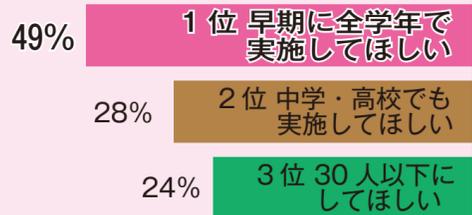
教育について

Q 学校・教育に対してのぞむこと



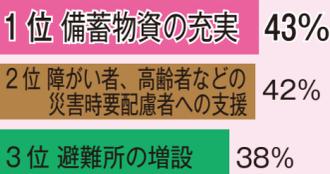
Q 少人数学級への願いは？

昨年、国においてようやく小学校の1学級あたりの人数を、2021年度から5年かけて35人とする決まりました。小中学校全学年における少人数学級の早期実現を求めています。



防災について

Q 災害対策で実施してほしいこと



Q 避難所について改善・充実してほしいこと



コロナ禍における地震や水害などの複合災害の場合、避難所の三密回避のためにも、収容者数を減らし、さらに避難所を確保することが急務です。党区議団は、ホテルや旅館、寺院との避難所協定を長年要求してきました。昨年10月、ホテルや旅館等との協定は締結されました。

ジェンダー平等を前に進めよう

女性議員の“産休”が規定に入りました

森喜朗前五輪会長の発言は、日本のジェンダー後進国ぶりを全世界にさらけ出しました。ちなみに文京区議会では、34人中3分の1の12人が女性議員で、やはり半分には届いていません。さて、今議会では、「区議会会議規則」の「欠席の届け出関係」が改正されました。これは、出産について「産前・産後の期間」等を明記するとともに、「育児」や「介護」等についても欠席事由として明文化したものです。

労働基準法は産休を定めていますが、議員は労働者でなく、適用されません。そのため、同僚議員や有権者の理解を得られず、産前産後に無理して活動する女性議員や、育児や介護を理由に休めないことが、若い世代を立候補から遠ざける一因と指摘されていました。今回、全会一致で決まり、女性等の政治参画への大きな一歩となりました。

